

総務委員会事業計画

1. 活動方針：2021年度は新型コロナウイルス感染症、感染防止等により委員会活動に制約があったため、2022年度も前年度に引き続きの事業活動を推進する。

～ 日本のばね産業の持続的成長の実現に向けて ～

一般社団法人日本ばね工業会は法人化されてから10年が経過し、事業活動の取り組み状況、成果を検証する時期に入ったと考える。そのため総務委員会ではワーキンググループ（規程改定・会誌広報）を設置し、あるべき姿の短期・中長期ビジョン、組織力強化策の検討、主要3事業の効果的な推進をしてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症により、活動を縮小せざるを得ない状況となったため、今年度はそれらを振り返り、各委員会・各支部との連携をより一層強化し、環境変化に順応した柔軟な事業計画の推進を図って行く。

なお、規程改定及び会誌広報WGは2022年度にて活動終了するべくまとめに入り、新たに事業企画WGを設置する。

（工業会の主要3事業とは）

1. ばねに関する規格・基準の制定と普及
2. 金属ばね製造技能士の育成と資格認定試験の受託と実施
3. ばねの統計

（今後の取り組み）

1. 事業環境の変化に対応した工業会事業・活動の構築
2. 会員向け情報発信、支援体制の整備

2. 委員会開催予定 … 理事会同日直前開催を1回、別日程での単独開催を3回とする。
新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法・開催地区は変更の可能性あり。

2022年 5月11日(水) 東京：会場未定
7月13日(水) 大阪：会場未定
11月 2日(木) 名古屋：会場未定
2023年 2月22日(水) 東京：会場未定

3. 国際交流事業について

各国工業会等が開催する国際会議に参加し、交流を図る。以下が予定。

事業名	主催団体	開催日時、場所
wire & Tube 2022	Messe Duesseldorf	2022. 06. 20～24 デュッセルドルフ (ドイツ)
International Spring Members Conference	ESF (欧州ばね工業会)	
ISO/TC227 ばね 第18回国際会議	日本(幹事国) ドイツ(議長国)	2022. 11. 10～11 杭州(中国)

(新型コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性あり)

4. 統計事業

① 統計(生産月報)調査の実施

ばねの生産、輸・出入に関する統計を実施し、速やかに機関誌及びホームページにて公表する。
会誌広報WGにて調査対象の会社について検証・再考中。

5. 広報活動

① 機関誌ばね年間発行計画

2022年度 年4回(4月・7月・10月・1月)とし、会員他団体等へ送付。PDF版を工業会ホームページに掲載する。

2023年については2022年11月開催予定の総務委員会で発行計画(2023年1月号からの)を審議するが、会誌広報WGによる記事内容・制作方法等の見直しを適宜行い、反映させながら制作・発行する。

② ホームページ

掲載内容の充実を図るべく、会員企業からの情報収集、各委員会事務局及び支部事務局等と連携して取り組み、情報更新に努める。

支部関係の行事案内等も「会員ページ」を有効に活用して展開する。

プログラムの問題の改修も適宜実施する。

③ 日本ばね工業会プロフィール2022(日文・英文併記)を改訂発行する。

(会誌広報WGにて記載内容について確認し、必要に応じ変更する)

④ 本年度の各種展示会等への共催・後援名義貸与

ものづくりセミナー

日本ばね学会主催

10月開催予定

住友クラブ(大阪市西区) 予定